

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2018年9月20日～2018年9月26日)

平成 30 年(2018 年)9 月 28 日

H E A D L I N E S

**政治**  
 ドウダ大統領, 最高裁規律部判事を任命  
 全国裁判所評議会(KRS), 欧州司法評議会ネットワーク残留を決定  
 ドウダ大統領及びチャプトヴィチ外相, 国連総会等に出席  
 欧州委, 欧州司法裁判所に対し, 最高裁法に関するファストトラック手続き等を要請

**治安等**  
 国境警備隊, ポドラスキエ県でアフガニスタン人密入国者を拘束  
 ウッチ市内のガソリンスタンドで発砲事件が発生  
 警察, ユーロ紙幣偽造の容疑で犯罪組織を摘発  
 警察の信頼度に関する世論調査結果  
 議会警備隊の権限強化に関する法改正  
 制服組織職員の待遇改善に関する動き  
 ワルシャワ近郊での犯罪組織の一斉摘発  
 国境警備隊, ウクライナ側カウンターパートと共同でトルコ人不法移民グループを摘発

**経済**  
 モラヴィエツキ首相, 2019年予算案について言及  
 閣僚評議会による税法改正案の採択  
 フィッチによる GDP 成長率予測  
 8月の失業率  
 ポーランドの労働事情  
 タウロン社, 合成天然ガス(SNG)生成に係る試験システムを立ち上げ  
 新たな熱電併給プラントの立ち上げ  
 中国企業と共同での送電網敷設  
 ガス料金の高騰  
 トフジェフスキ・エネルギー大臣, 原発建設経費の予算計上の可能性に言及  
 トフジェフスキ・エネルギー大臣, エネルギー政策の年内発表について言及  
 ボグダンカ石炭ガス複合発電所の建設経費高騰の可能性

**大使館からのお知らせ**  
 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意  
 欧州でのテロ等に対する注意喚起  
 「たびレジ」への登録のお願い  
 パスポートダウンロード申請書の御案内  
 平成30年度後期分教科書の配布に関する御案内  
 海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口  
 大使館広報文化センター開館時間  
 文化行事・大使館関連行事  
 読者からのお知らせ

在ポーランド日本国大使館  
 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 <http://www.pl.emb-japan.go.jp>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍, 国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内 政

ドゥダ大統領、最高裁規律部判事を任命【20日】

20日、ドゥダ大統領は全国裁判所評議会(KRS)より推薦を受けた候補者の中から規律部判事10人を任命した。規律部は本年4月に施行された最高裁判所改正法にて新設された部局で、裁判官の規律問題等を管轄する。

全国裁判所評議会(KRS)、欧州司法評議会ネットワーク残留を決定【21日】

21日、全国裁判所評議会(KRS)は、18日に欧州司法評議会ネットワーク(ENCJ)での資格停止が決定されたことを受け、ENCJの離脱提案に関する投票を実施し、賛成7票、反対9票で同提案が否決され、ENCJに留まることとなった。

## 外交・安全保障

ドゥダ大統領及びチャプトヴィチ外相、国連総会等に出席【23-26日】

25日及び26日、ドゥダ大統領及びチャプトヴィチ外相は、ニューヨークを訪問し、国連総会及び安保理に出席した。ドゥダ大統領は、ニューヨーク滞在中、トランプ米国大統領、ポロシェンコ・ウクライナ大統領、メタ・アルバニア大統領、アッバース・パレスチナ大統領、ネタニヤフ・イスラエル首相、アブドゥラー2世・ヨルダン国王等と会談した。また、チャプトヴィチ外相は、24日にワシントンDCで行われた会合に出席した後、ニューヨークで非公式EU外相会合及びV4外相会合にも出席し、リビア情勢、移民・難民問題等について協議した。

欧州委、欧州司法裁判所に対し、最高裁法に関するファストトラック手続き等を要請【24日】

24日、欧州委は、ポーランドの最高裁法に関するEU法違反条項の除去手続の第三段階(欧州司法裁判所への提訴)に向け、同司法裁に対し、ファストトラック手続き及び最高裁法の一部規定の停止を要請した。モラヴィエツキ首相は、(同司法裁を通じた欧州委文書の送付)手続きを待って対応する旨述べつつ、欧州委は、同委とポーランドとの協議を一定程度、或いは、ひょっとしたら完全に不可能にする行動をとる決定をしたとコメントした。

## 治 安 等

国境警備隊、ポドラスキエ県でアフガニスタン人密入国者を拘束【21日】

21日、国境警備隊は、ポドラスキエ県コリチンで、セルビアからスウェーデンに工業部品を運ぶトレーラに潜んで密入国したアフガニスタン人男性を拘束した。本事案は、トラックのセルビア人運転手がコンテナからの異音に気づき発覚したもので、アフガニスタン人男性は、ビャウイストクの難民センターに収監された。

ウッチ市内のガソリンスタンドで発砲事件が発生【24日】

24日、ウッチ市内のガソリンスタンドの売店で男が突如けん銃を発砲し、店内から商品を奪って逃走する事件が発生した。発砲による負傷者はなく、容疑者は翌日、ウッチ近郊の村落で逮捕された。

警察、ユーロ紙幣偽造の容疑で犯罪組織を摘発【25日】

国家警察本部は、グダンスクでユーロ紙幣偽造に関与した犯罪組織を摘発した。今次摘発は、ユーロポールからの情報提供を元に、ポーランド警察とオ

ーストリア警察が共同で実施したもので、偽造紙幣は、ダークネット上での取引で欧州各地に流通していたとみられている。警察によれば、摘発された犯罪組織は、グディニャ市内のアパートに密造工場を設置し数年間に渡って活動しており、これまでに数千枚の紙幣を偽造したとみられている。押収された偽造紙幣にはホログラムが施されるなど、高度な偽造技術が用いられており、警察は国際的な紙幣偽造ネットワークが関与していると見て、全容解明に向けた捜査を続けている。

警察の信頼度に関する世論調査結果【25日】

世論調査機関CBOSが9月6日から13日までの間、ポーランド人1,064人を対象に実施した行政機関、マスコミ等の信頼度に関する世論調査によれば、警察が信頼できるとの回答は74%(前回調査から6%増)、信頼できないとの回答は15%(前回調査から2%減)で、警察に対する信頼度は調査対象の25機関の中で最も高くなった。なお、CBOSは、毎年3月及び9月に同様の調査を行っている。

議会警備隊の権限強化に関する法改正【26日】

政府は、本年5月に実施された法改正に伴い、上院及び下院の警備を所管する議会警備隊の権限を強化している。同法改正は、議会周辺で実施される抗議集会やデモ行進が増加していることを受けたもので、改正に伴い、議会警備隊員の数は従来の160人から320人に増員され、必要に応じて身体検査や身分証検査を実施する権限が認められたほか、銃器の携行や警察犬の使用、職務に関連した個人情報収集についても許可された。

#### 制服組織職員の待遇改善に関する動き【26日】

警察、国境警備隊、刑務官、消防士、税関など内務・行政省傘下の制服組織職員の労働組合は、2018年6月から、賃上げや残業代の100%支給、医療費の無償化等を求めて抗議行動を実施しており、ブルジンスキ内務・行政大臣は、労組幹部と面会するなどして、事態の沈静化を図っている。9月に実施された面会で、ブルジンスキ大臣は、制服組織の近代化予算として92億ズロチが割り当てられていることを明らかにし、近代化計画のあり方が重大な局面を迎える中で抗議活動が継続されているなどと主張し、労組側に10月に予定されている抗議活動の中止を求めた。

#### ワルシャワ近郊における犯罪組織の一斉摘発【26日】

26日、警察は、ワルシャワ周辺において、軍憲兵隊、公安庁(ABW)と共同で、オジャロフ・ギャングの別名で知られる犯罪組織に対する一斉摘発を実施し、26か所を捜索、26人を拘束した。同組織は、大規模な違法薬物取引や強盗等を度々引き起こしており、過去に実施された警察の大規模摘発を受けて一時は活動が低調になったものの、近年再び活性化し、同様の違法行為を繰り返していた。今次摘発で、警察は総重量270キロ、1,270万ズロチ相当の違法薬物や銃器等を押収した。

#### 国境警備隊、ウクライナ側カウンターパートと共同でトルコ人不法移民グループを摘発【27日】

国境警備隊は、ウクライナ側カウンターパートから情報提供を受け、ポドカルパツキエ県ルバチョフにおいてトルコ人の組織的不法移民を摘発した。本事案は、ドイツに在留権を持つトルコ人があらかじめ国境付近に待機し、ウクライナ側からの不法入国者をピックアップしてドイツ領内まで送り届けるという手口で、ポーランド国境警備隊がピックアップ担当のトルコ人を合流前に拘束したことから、総勢11人のトルコ人不法移民が拘束された。

## 経 済

### 経済政策

#### モラヴィエツキ首相、2019年予算案について言及【25日】

2019年概算予算案が閣僚評議会の採択を経て下院に送付された。モラヴィエツキ首相は、同予算案は政府の社会政策に合致すると同時に、開発・投資政策にも沿ったものであり、非常に良い内容になっていると述べた。同首相は、野党やコメントーターの多くが「ファミリー500+」や年金支給年齢の引き下げ、高齢者への医薬品の無償提供などの社会政策予算の確保について疑問を呈していることに触れ、必要経費は今次予算案に吸収済みと付言した。予算案は、歳入3,869億ズロチ、歳出4,154億ズロチで、285億ズロチの財政赤字

を想定している。

#### 閣僚評議会による税法改正案の採択【25日】

閣僚評議会は、税制の抜け穴を塞ぐための税法改正案を採択した。同法案には、海外への資本移転に関する出国税の導入、新たな租税回避対策、脱税に対する罰則の厳格化等の内容が含まれている。なお、出国税については、未実現利益の基準額が当初案の200万ズロチから400万ズロチに引き上げられた。また、5年以内にポーランドに資産等の移転を行う場合には、徴収された出国税の返還を申請できるという規定が追加された。

### マクロ経済動向・統計

#### フィッチによる GDP 成長率予測【21日】

格付機関フィッチは、ポーランドのGDP成長率予測を2018年は前回予測の4.4%から4.8%に、2019年は3.4%から3.6%にそれぞれ引き上げた。アナリストは、労働力不足や為替レートの弱含によりインフレが加速し、その結果、中央銀行が2019年下半期に利上げを行うと予想している

(政策金利を2019年には2%、2020年末までに2.5%に引き上げると予想)。

#### 8月の失業率【25日】

中央統計局(GUS)によると、8月の失業率は5.8%(前月比0.1%減)に減少し、過去25年間で最低水準を記録した。8月末時点の登録済み失業者数は958,800人となった。

## ポーランド産業動向

ポーランドの労働事情【21日】

当地の調査会社 Kantar Public の調査によれば、75%の回答者がポーランドで仕事を見つけるのは難しくないと回答した。他方、61%が、仕事は見つかるが必ずしも希望に添ったものではないと回答した。さらに、特に困難もなく良い仕事を見つけられ

るとする回答が14%だったのに対し、良い仕事を見つけるのに困難が伴うとする回答は17%であった。

また、求人会社 Michael Page の調査によれば、現在の職場の昇任機会について満足しているとの回答は18%であった。

## エネルギー・環境

タウロン社、合成天然ガス(SNG)生成に係る試験システムを立ち上げ【20日】

国営電力会社タウロン社は、ワジスカ火力発電所に合成天然ガス(SNG)生成に係る試験システムを立ち上げた。同システムは、発電時に発生する二酸化炭素を用いてSNGを生成するもので、同社のブレダ副社長は、同システムが二酸化炭素排出抑制に役立つとの見解を示し、最近の二酸化炭素排出権価格の高騰について、消費者価格に悪影響を及ぼすとの見解を示した。

新たな熱電併給プラントの立ち上げ【20日】

当地のエネルギー会社 Fortum 社は、南部の都市ザブジェに熱電併給プラントを建設した。同プラントは7万世帯以上に熱と電気を供給する見込みで、石炭やバイオ燃料など、様々な燃料を利用可能なのが特色とされる。

中国企業と共同での送電網敷設【21日】

中国の上海電力建設有限公司とポーランド企業2社で構成されるコンソーシアムは、ポーランドの国営送電会社であるポーランド・パワーグリッド(PSE)社の400kV 送電網で、延長約147キロ、3.65億ズロチ(8,500万ユーロ)相当の送電線敷設に係る協定を締結した。

ガス料金の高騰【26日】

ポーランド国内で企業向けガス料金が高騰しており、2018年10月には40%上昇する可能性が

ある。今年初めと比較すると、ブレント原油の料金は22%、ガス料金は50%上昇しており、外的要因と国内の需要増加が、価格高騰の要因とされる。

トフジェフスキ・エネルギー大臣、原発建設経費の予算計上の可能性に言及【26日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、オイル・ガス・化学会議において、原発建設費用の一部を国家予算から捻出できるか検討する準備があると述べた。なお、トフジェフスキ大臣は、国庫支出だけでなく、外国企業の参画も可能と発言した。

トフジェフスキ・エネルギー大臣、エネルギー政策の年内発表について言及【27日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、オイル・ガス・化学会議において、EUガイドラインに準拠し、欧州委員会の承認が下り次第、エネルギー政策を公表できると述べた。また、国営エネルギー企業PGE社による電力供給会社 Innogy の買収報道について、そのような計画はないと否定した。

ボグダンカ石炭ガス複合発電所の建設経費高騰の可能性【27日】

エネルギー省は、ボグダンカ石炭ガス複合発電所(500MW)の建設経費を40億ズロチ(1MW当たり780万ズロチ)と試算しているが、米国のエネルギー経済金融研究所(IEEFA)は、実際の建設経費が3~5倍に膨らむ可能性を指摘した。

## 大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航

する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

[http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/oshirase\\_schengen\\_2.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html)

### 欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、2017年もスペイン、フランス等で新たなテロが発生しており、本年も引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### 「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

### パスポートダウンロード申請書の御案内

2017年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

### 平成30年度後期分教科書の配布に関する御案内

在ポーランド日本国大使館では、ポーランド在住で平成30年3月末日までに大使館に「在留届」を提出している邦人子女を対象に、日本の小学生用の教科書(平成30年度後期分)を配布しています。後期分教科書は小学生用のみの配布となりますので、御注意ください。

御希望の方は『教科書申込書』を入手の上、該当事項を記入して、下記の申込先に送付してください。ワルシャワ日本人学校の児童、生徒(入学予定者を含む)については、同校を通じて配布いたしますので、申し込みの必要はありません。なお、教科書自体は無償ですが、郵送による受取りを希望される方については、大使館(ワルシャワ市)から「着払い」にて送付するため送料が発生します。あらかじめ御了承ください。

教科書申込書のリンク:<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho30.2semester.pdf>

申込先: cons@wr.mofa.go.jp (Eメールの場合)

22-696-5006 (FAXの場合)

ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa (郵送の場合)

**海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口**

海外に在留する邦人の子女への教育振興を目的に活動する公益財団法人・海外子女教育振興財団は、海外子女教育専門の教育相談員による教育相談を実施しているところ、この度、いじめに関しても相談を受け付けることとなりました。詳細については、下記にお問い合わせください。

問合せ先: 公益財団法人 海外子女教育振興財団 事業部 教育相談事業チーム  
 電話: 81-3-4330-1352(受付時間: 月～金曜 10時～16時)  
 Eメール: [soudanjigyol@joes.or.jp](mailto:soudanjigyol@joes.or.jp)

**【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: [info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp), 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

## 文化行事・大使館関連行事

**【開催中】ピウスツキ兄弟：ペンと銃で独立へ【4月27日(金)～11月11日(日)】**

ゾリ市にて、ゾリ市立博物館主催による『ピウスツキ兄弟：ペンと銃で独立へ』が開催中です。プロニスワフ・ピウスツキによるアイヌ研究にフォーカスしたピウスツキ兄弟に関するイベントです。アイヌ文化及び日ポ関係史を紹介した展覧会、ワークショップ、講演、パフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: ゾリ市 (シロンスキエ県), ゾリ市立博物館, ul. Muzealna 1/2

詳細: <http://muzeum.zory.pl/>

**【開催中】展覧会「物の哀れ」【9月6日(木)～10月7日(日)】**

タルヌフ市にて、タルヌフ市芸術展覧会場主催による『物の哀れ』が開催されます。葛飾北斎による浮世絵および日本芸術、特に物の哀れと浮世絵にインスピレーションされたポーランドアーティスト2人の作品が展覧中です。

開催場所: タルヌフ市 (マウオポルスカ県), タルヌフ市芸術展覧会場, ul. Słowackiego 1

詳細: <http://www.bwa.tarnow.pl/1,586,wystawy,mono-no-aware-.html>

**【開催中】「大使—文化」プロジェクト【9月22日(土)～29日(土)】**

ワルシャワ市, ポズナン市, クラクフ市にて、プラツテアトラルニ基金主催による『大使—文化』が開催されます。このしたやみ演劇ユニットのポーランドツアーが開催中です。入場料: 有料。

クラクフ 28日・29日 19時 Teatr Ludowy, ul. Osiedle Teatralne 34

詳細: [http://placteatralny.eu/?page\\_id=1228](http://placteatralny.eu/?page_id=1228)

**【予定】世界極真武道会(WKB)の第8回 Polish Open 2018【9月29日(土)】**

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『世界極真武道会(WKB)の第8回 Polish Open 2018』が開催されます。

開催場所: レジャイスク市 (ポトカルパチエ県), ul. Skłodowskiej 6

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl/>

**【予定】学会:「数学における神経化学: 日本の算盤」【10月6日(土)11:00～17:15】**

ウヅ市にて、スーパーマインドズアカデミー主催による『学会:「数学における神経化学: 日本の算盤」』が開催されます。算盤に関する講演会や算盤大会・ワークショップなどが予定されています。

開催場所: ウヅ市 (ウヅ県), ウヅ大学, ul. Pomorska 171/173

詳細：<http://www.supermindsacademy.com>

**【予定】文化祭：秋の日本芸術フェスティバル【10月6日(土)～7日(日)】**

ワルシャワ市にて、チビワル主催による『文化祭：秋の日本芸術フェスティバル』が開催されます。日本文化に関する講演会、様々なワークショップ、コンサート等が予定されています。

開催場所：ワルシャワ市, PROM Kultury Saska Kępa, ul. Brukselska 23

詳細：<http://bunkasai.pl/bunkasai-2018/>

**【予定】算盤ワークショップ【10月9日(火) 15:00】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、石戸謙一氏によるそろばんワークショップが開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加御希望の方は事前に御連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所：Al. Ujazdowskie 51(4階), Warszawa)

**【予定】学会「美・遺産・コミュニケーション。ハルクロヴァ2018」【10月11日(木)】**

ノヴィ・タルグ市にて、法王ヨハネ・パウロ2世大学及びノヴィ・タルグ市ポドハレ専門学校共催による『学会「美・遺産・コミュニケーション。ハルクロヴァ2018」』が開催されます。川田大使による講演「日本・ポーランドの友好関係史」等が予定されています。

開催場所：ノヴィ・タルグ市(マウオポルスカ県), ノヴィ・タルグ市ポドハレ専門学校, ul. Kokoszków 71

詳細：<http://www.ppwsz.edu.pl/ogolnopolska-konferencja-nauk-xi.html>

**【予定】講演会：福島安正【10月15日(月) 17:30】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、福島安正に関する講演が開催されます(ポーランド語のみ)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加御希望の方は事前に御連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所：Al. Ujazdowskie 51(4階), Warszawa)

**【予定】ポーランド空手連盟の第19回ポーランドオープンシニア・ジュニア極真空手選手権【10月20日(土) 9:00～19:00】**

タルノフスキェ・グリス市にて、タルノフスキェ・グリススポーツクラブ「空手」主催による『ポーランド空手連盟の第19回ポーランドオープンシニア・ジュニア極真空手選手権』が開催されます。

開催場所：タルノフスキェ・グリス市(シロンスク県), ul. Obwodnica 8

詳細：<http://www.tkskarate.pl>

**【予定】第12回ワルシャワ大学日本祭【10月22日(月)～26日(金)】**

ワルシャワ市にて、ワルシャワ大学東洋学部日本学科主催による『第12回ワルシャワ大学日本祭』が開催されます。日本に関する講演会、生け花展・ワークショップ、書道展・ワークショップなどが予定されています。

開催場所：マゾフシェ県, ワルシャワ市, ワルシャワ大学図書館, 316教室, ul. Dobra 56/66, ワルシャワ王宮, ul. Plac Zamkowy 4

詳細：<http://japonistyka.orient.uw.edu.pl/dni-japonii/>

**【予定】講演会：俳句【10月25日(木) 17:30】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、ワルシャワ大学日本学科梅田氏による俳句に関する講演が開催されます(ポーランド語のみ)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加御希望の方は事前に御連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所：Al. Ujazdowskie 51(4階), Warszawa)

読者からのお知らせ

**【開催中】今は亡きポスターの巨匠展：亀倉雄策・田中一光・福田繁雄【6月28(木)～9月30日(日)】**

ソポト市にて、世界的に活躍した三人の日本人グラフィックデザイナーの回顧展が開催中です。故亀倉雄策氏（1915-1997）の東京オリンピック 1964 のポスター（復刻版）、故田中一光氏（1930-2002）のモダンな能楽ポスター、故福田繁雄氏（1932-2009）のトリックアートなど、記念碑的な作品の数々が展示されています。いずれもワルシャワ国際ポスタービエンナーレでの受賞や国際審査員の仕事を通して日ポの交流に貢献されました。

開催場所：ソポト市、国立美術ギャラリー、Plac Zdrojowy 2

詳細：

<http://www.pgs.pl/wpisy/wielcy-nieobecni-swiatowego-plakatu-yusaku-kamekura-ikko-tanaka-shigeo-fukuda>

フェイスブックのイベント情報：<https://www.facebook.com/events/294585957745370/>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

#### **皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。）

#### **【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス ([newsmail@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmail@wr.mofa.go.jp))